

4回 市民能楽講座

み方と「舍利」の見どころ

7月19日(金) 15:00開始/18:30開始(開場 各30分前)

〔せんだい演劇工房10-BOX別館〕

寛泰(喜多流能楽師)

せんだい演劇工房 10-BOX

022-782-7510

能 | [和泉流 狂言] 利 | 鐘の音

寛泰
(能楽師)

シテ 野村 太一郎

〔松風〕佐藤 章雄 〔船弁慶〕佐々木 多門

7月25日(土)

13:00開演(13:00開場)

システムズホール仙台

(青年文化センター)シアターホール

3,000円(当日 3,500円)

4月24日(金)

発売

事業団・総務課 tel.022-727-1875

システムズホール仙台、イズミティ21、せんだい演劇工房10-BOX

アービーズ、八文字屋書店泉店 ほか、全国のぴあのお店

サークルK・サンクス、ローソン

予約コード/443-798】

予約コード/22880】

(土)開催の能公演には
お申し込みがございませう。

解説 大島 輝久

仕舞

松 風 佐藤 章雄
船弁慶 キリ 佐々木多門

地謡

佐藤 陽
内田 成信
友枝 雄人
友枝 真也

狂言

鐘の音

シテ・太郎冠者

野村太一郎

アド・主

能村 晶人

休憩 二十分

能 舍利

後シテ・足疾鬼
前シテ・里人

佐藤 寛泰

ツレ・韋駄天 塩津 圭介

アイ・能力 野村太一郎

ワキ・旅僧 森 常太郎

大鼓 大倉慶之助 太鼓 小寺真佐人
小鼓 住駒 充彦 笛 藤田 貴寛

後見

佐藤 章雄
佐々木多門

地謡

友枝 真也 内田 成信
金子敬一郎 狩野 了一
大島 輝久 友枝 雄人

附祝言

終了予定 十六時三十分頃

「舍利」――あらすじ――

出雲国三保の関の僧が、京都に上り十六羅漢や仏舎利を拝もうと東山の泉涌寺にやってくる。僧は仏舎利を拝んで感涙していると一人の里人がやって来て一緒に拝み出す。すると里人は仏舎利の謂れなどを語っていたが、次第に空はかき曇り稲妻が走った。里人は足疾鬼の執心だと明かし、急に顔は鬼に変わり仏舎利を奪い、天井を蹴破って虚空へ飛び去る。「中入」そこに寺男がやってきて、足疾鬼が釈迦入滅の時にもその歯(牙舎利)を盗みそれを韋駄天が取り返したことを話し、寺男と僧は韋駄天に祈る。寺を守護する韋駄天が現れ足疾鬼を天上界、下界へと追いかけて仏舎利を取り返し、力尽きた足疾鬼は消え失せた。

「鐘の音」――あらすじ――

成長した息子の元服に際し、黄金造りの刀を差させようと思った主人が、太郎冠者に鎌倉へ行き「金の値(かねのね)」を聞いて来いと命ずる。太郎冠者はそれを「鐘の音(かねのね)」と勘違いして、鎌倉の寺々をめぐる歩き、鐘樓堂の鐘をついて音色を聞き比べてくる。帰宅してその旨を主人に報告し、主人に叱責されるが、即興的に鎌倉の寺々を回った様子を謡い舞って機嫌をとり結ぶ。



佐藤 寛泰

昭和61年 喜多流能楽師 佐藤章雄氏の長男として生まれる。佐藤家は代々仙台藩伊達家お抱え能楽師であった喜多流職分家で12代目。63年独吟「老松」にて初舞台。翌平成元年には能「隅田川」で初子方、平成8年には能「経政」にて初シテを勤める。早稲田大学、山梨学院大学において学生の指導に当たり、東京仙台、前沢・山梨などで弟子の指導も行っている。

能楽は650年以上にわたって継承されてきた世界的にも稀有な「音楽劇」であり、日本の歴史や文学と密接に関わりながら、他の芸術文化や芸能、ひいては日本人の心象形成に多大な影響を与えてきた芸能です。そして仙台も、藩政時代から能楽が盛んに行われてきた街です。仙台市能楽振興協会では現在も能の各流派(喜多、観世、宝生、金春、金剛)と狂言、囃子方が、流派を超えて互いに協力し合いながら、能楽の普及と振興に努めています。

【講座】
6/19(金)
 午後3時開始(開場2時30分)
 午後6時30分開始(開場6時)
能-BOX
 仙台市若林区卸町2-15-6
 (サンフェスタ隣り)
 ◎仙台駅バスターミナル4番から
 約25分/仙台市営バス
 「卸町三丁目・能-BOX前」下車。
 >>志波町・卸売市場経由 東部工場団地行
 >>志波町経由 卸売市場・霞の目営業所行

【公演】
7/25(土)
 午後2時開演(開場1時)
日立システムズホール仙台
 (仙台市青年文化センター)
 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5
 ◎地下鉄「旭ヶ丘」駅下車
 徒歩3分

**能のおけいこ
体験講座**

能-BOXにて随時開催しています。

詳細は TEL:022-782-7510
 せんだい演劇工房 **IO-BOX** まで
 お気軽にお問い合わせください。